

誰一人取り残さないための学力向上アクションプラン

令和 7 年 5 月 1 日現在 江戸川区立松江第二中学校

全国学力・学習状況調査 A・B層の割合		
年度	国語	数学
令和 8 年度の目標	50.0%	55.0%
令和 7 年度の目標	50.0%	55.0%
令和 6 年度の結果	50.0%	55.0%
令和 5 年度の結果	50.0%	55.0%

令和 6 年度江戸川区学力調査結果 A・B層の割合			
学年	国語	数学	英語
第 2 学年	50.0%	50.0%	50.0%
第 1 学年	54.8%	50.6%	50.6%

	目標達成に向けた取組		
	教員の指導力向上	基礎学力の保障	学習習慣の確立
学校全体の取組	・必ずその授業の学習目標を提示し目標を明確にする。 ・生徒同士が話し合い活動の場を多く設定して対話的学習を重視する。 ・単元・教材の振り返りを行い、まとめをする。	・漢字テスト、計算力テスト、スペリングテストを定期的実施する。	・各教科の学習方法を検討し合い、学年だよりや掲示物で発信する。 ・定期考査前に学習計画表を作成させ、家庭学習の促進
特に支援が必要な児童・生徒への手だて	・全員が自信を持てる発問を授業中、ワークシート等に数問設定し、自己肯定感を高める。	・学習サポートを放課後補習事業者と連携して実施する。 ・学年で実施の補充学習教室を実施する。	・家庭学習ノートを作成し、毎日1ページ学習し、提出する。 ・ミライシードドリルパークを活用し、自分に到達度に合った学習を行う。
成果指標	・全国学力調査質問用紙「自分の思いや考えをもとに、作品や作文など新しいものを創り出す活動を行っていましたか」 指標 80%以上	・全国学力調査質問用紙「授業の内容はよく分かりますか」 指標 国語 90%以上 数学 95%以上	・全国学力調査質問用紙「ゲーム、SNS、動画視聴に関係する時間が2時間より少ない生徒の割合」 指標 50%以上 ・学校の授業時間以外の勉強時間1時間以上の回答割合 指標 70%以上